

大子町の冬

自然の芸術を鑑賞したら、温泉でゆったり温まる



**滝の水結、流れるシガ…
独自の気候が生む
大自然の営みに感動**

四季の移り変わりが美しい大子町。紅葉の時期が終わると厳しい冬を迎えるが、大子町の冬は特別な風景を生み出す。

まずは袋田の滝。リニューアルされた照明のトンネルを抜けると、高さ120メートル、幅73メートルの滝が現れる。滝が凍る「氷瀑」は荘厳。昨冬は滝の9割が凍り、流れる水の音も消える「完全氷瀑」まであと一歩に迫った。滝がライトアップされる「大子来人」も冬の風物詩になっている。また、「裏見の滝」と呼ばれる月待の滝の氷瀑も美しいと評判だ。

冷え込んだ日が続くと、久慈川にシャベット状の水が流れる「シガ」と呼ばれる珍しい現象も見られる（水瀑やシガは天候条件によるため、鑑賞には事前の確認が必要）。

大子は温泉の街でもある。大子温泉、袋田温泉、月居温泉があり、日帰り入浴施設もある。体の芯までじゅわっと温まりたい。

独自の地元料理も大子観光の魅力。冬は「しゃも鍋」が人気で、多くの店や宿で味わうことができる。日本三大地鶏にも数えられる奥久慈しゃものうまみが凝縮された鍋は、人々を笑顔にしている。



氷瀑した袋田の滝



久慈川を流れる「シガ」



大子温泉名物「りんご風呂」

【写真提供：大子町】

大子町冬のコース

茨城県内で「冬らしさ」を体験できる大子町。袋田の滝や月待の滝など、冬の風景を堪能したら、温泉を楽しもう。温泉と郷土料理を併せて楽しめる宿も多いので、宿泊して大子町を満喫したい。

A 道の駅奥久慈だいち



1階はレストランや産地直売コーナーの他、レンタサイクルのステーションを設置。2階には久慈川を望む温泉施設も。レストランでは名産しゃも・ゆば・そばなどを活かしたメニューを提供。

B 袋田の滝（大子来人）



国名勝「袋田の滝」ライトアップは令和6年1月31日まで開催中。滝のライトアップと観瀑トンネル内のイルミネーションが楽しめる。

C 森林の温泉



内風呂、気泡風呂、サウナ、水風呂、大露天風呂、うたせ湯の6種類を楽しめる。満点の星や雄大な山々を眺めながら、ゆったりと旅の疲れを癒やして。

袋田の滝キャラクター

「たき丸」

温泉と食べ歩きが大好き。帽子には「袋田の滝」が流れている。丸みのある姿は、大子町に住む人と訪れる人が輪になってつながっていく意味が込められている。

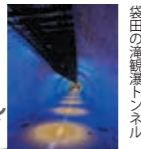
大子町の概要

奥久慈地域の中心。温泉や名勝など、観光資源にあふれた町で、コンニャク、奥久慈しゃも、お茶、りんごなど、名産品も多い。昨年には純木造の新庁舎がオープンした。

D おやき学校



明治初期の木造校舎をリニューアルした体験型施設。おやき作りの体験や、併設のカフェでは学校給食風のメニューが味わえる。年末まで校庭キャンプも楽しむことができる。



リニューアルされた袋田の滝観瀑トンネル

E 月待の滝

水に濡れることなく滝の裏に入るることができることから「別名「裏見の滝」または「くくり滝」とも言われる。冬場には凍結した滝の姿が見られることもある。



名産名品



奥久慈しゃも

「地鶏の最高傑作」との呼び声も高く、食材にこだわる全国一流料亭・レストランにも支持されている。その肉質は素晴らしい。低脂肪でしっかりした歯ごたえと濃厚な味わいが魅力。大子町内では、様々な店舗で親子丼やしゃも鍋を味わうことができる。

●お問い合わせ／大子町観光商工課 ☎0295(72)1138 ●企画・制作／読売茨城広告社 ☎029(244)5555

